



# 臨床心理士

心の問題を抱える人に対し、臨床心理学などにもとづく専門的な援助を行う

## しごとの内容

心理学的な技法によって対象者を検査・診断し、さまざまな心理療法を行います。具体的には、心の問題や悩みなどについて臨床的な心理学の技法を用いて解決を図ったり、相談に応じたりします。このため、業務にあたっては、心理診断の能力や心理治療的援助、技法上の的確な処置能力、人的援助システムの管理能力などが求められます。

## 主な職場

病院、精神保健福祉センター、デイケアセンター、少年鑑別所、児童相談所、学生相談所、教育相談機関、企業内診療所、自営業

## 将来性

国家資格ではないうえ、カウンセラーと酷似した歴史の浅い職種ですが、その専門性の高まりとともに、高く評価されています。とりわけ、近年、不登校や校内暴力、いじめによる自殺や少年犯罪・非行などが社会問題となっているなか、すべての公立の小・中学校、高校にスクールカウンセラーが派遣されており、将来性は十分です。

## 有資格者数

2万6,329人（2012年現在）

## 勤務形態

原則として日勤ですが、まだ非常勤の場合のほうが多いです。



## 給与水準

公務員やこれに準じた関係機関の場合、公務員給与規定にもとづきます。病院など民間の場合、公務員給与規定に準じて資格手当が付くこともあります。

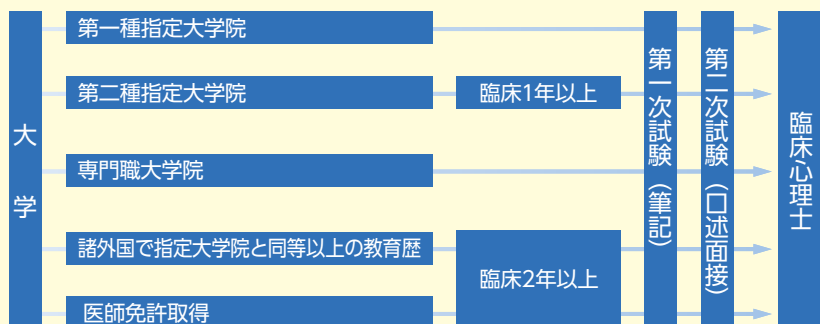
なお、開業者はまだ一部ですが、なかには年収500万～600万円と高収入を得ている人もいます。

## 資格取得のルート

臨床心理士を養成する指定大学院、または専門職大学院を修了し、所定の要件を満たして認定試験の受験資格を得ます。もしくは諸外国で指定大学院と同等以上の教育歴を有する、あるいは医師免許取得者であって臨床経験を2年以上積むなどして認定試験の受験資格を得ます。そのうえで、日本臨床心理士資格認定協会が実施する臨床心理士試験に合格し、資格を取得します。

ただし、資格の取得後、5年ごとに資格の更新が義務づけられ、過去5年間、学会活動やワークショップへの参加、認定協会主催の研修会への参加などがポイントとして評価されます。しかも、更新時に最低15ポイントを取得していることが必要です。

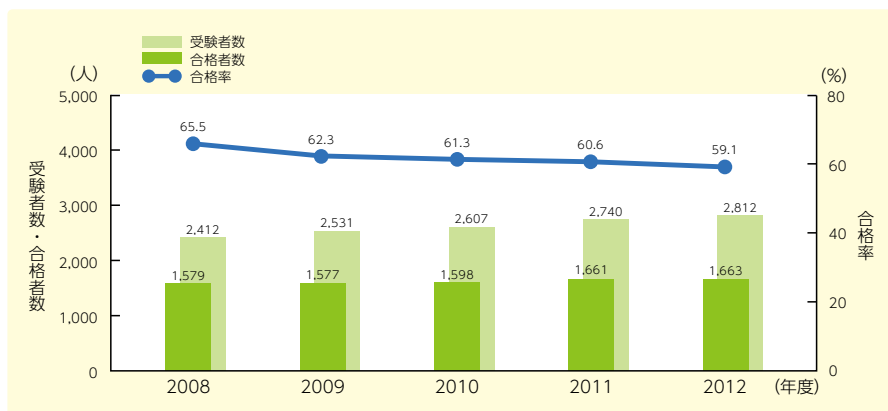
<資格取得のルート>



## 臨床心理士試験の概要

試験内容	〈筆記試験〉 設問=100題 ①臨床心理査定 ②臨床心理面接 ③臨床心理的地域援助 ④①～③の研究調査等に関する基礎的知識及び技能 小論文=1001字以上1200字以内 〈口述面接〉
試験日	年1回、10～12月
試験場	東京
申し込み期間	9月上旬まで
受験手数料	30,000円。登録料50,000円

## 合格者状況



## 資格取得のポイント

試験科目は臨床心理査定や臨床心理面接、臨床心理的地域援助などのため、心理学系統の学問を学びます。

また、実務経験が必要な場合、学校を卒業後、教育相談機関や病院等の医療施設など、心理臨床の経験として認められる職場に就くことが大切です。

## 関連団体・組織

---

日本臨床心理士会

<https://www.jscpp.jp/>

日本臨床心理士資格認定協会

<http://www.fjcbcp.or.jp/index.html>